

西別院だより

降誕会号



- 5月22日(金) 9:00 双葉高校参拝
- 5月23日(土) 10:00 小樽幼稚園・新光保育園・若竹保育所参拝
- 11:00 寄贈品セール
- 13:30 降誕会法要
- 14:30 子供ゲーム大会
- 5月24日(日) 12:30 稚児行列(庭儀)
- 13:00 降誕会法要・初参式・記念法話・お楽しみ会

尚、5月23日(土)・24日(日)は書道展・華道展・お茶会・バザーも予定しております。
※5月23日(土)・24日(日)・25日(月)の三日間は月忌参りを休ませていただきます。

『われらの目覚め』



輪番 土原 世胄

聖人は八百二十五年前、鎌倉時代にお生れになりました。時は戦乱の時代、特権階級上類のみが人であり、下類の人々は人にして人にあらず地上をはいずり回っていた人々が宗祖の「われら」でした。その「われら」が「如来の御ちかひをふた心もなく、信樂すれば、撰取のひかりにおさめとられまいらせてかならず大涅槃のさとりをひらかしめたまう」と宗祖の教えによつて人々が如来の光明の中で自らの「いのち」を見出したのであります。

人間は愛情なくしては生きてゆけません。

しかし愛情というものは科学のメスにかかるものでなく、人体を解剖しても愛情の心はどこにもメスがかかりません。しかし厳然として愛情は人々の

心に生きています。むしろ愛情によつて人は生きていくというべきでしょう。愛情とかご恩というものは私の頭で考えてわかる世界ではなくて、向こうから働いてくだされる行為によつて知らされる世界であります。「科学は知る世界であるが、宗教は知らされる世界である」と湯川博士がいわれています。聖人は私達が称えるお念仏は、わたしをして浄土のさとりに至らしめる大いなる行いであると共に、この人生の不安や苦悩を乗り越えて真実に生きる支えであると教えられました。今、日本は物質文明が豊かになってしまいい、自己中心的であり、親子の輪、師友の愛情、人と人との和情がくずれ、愛情のない砂漠をさまよっている感があります。

目に見える事実だけに止どまらずに、その背後に見えない深い境地やはたらきを感じ取っていく所に冥加の世界があるのです。

聖人御誕生は、罪業深重の私の為の誕生、教化であつたかと思われま

合 掌

＊八百二十五回親鸞聖人降誕会＊

北海道にも春が訪れ、新緑にあふれ、花が咲きほこる中、親鸞聖人の八百二十五回目のお誕生日をおむかえます。

親鸞さまは、承安三年（一一七三）に京都伏見の日野の里にお誕生になりました。江戸時代に五天良空という方が編集された『高田開山親鸞聖人正統伝』という本によりますと、お誕生は旧暦の四月一日（新暦では五月二十一日）となっております。その後養和元年（一一八一）の春、九歳の時に京都東山の青蓮院にて慈円僧正（慈鎮和尚）のもとで天台宗の僧侶として出家得度しました。幼名の松若磨（鶴光磨だったともいわれる）を範宴と改め、比叡山に登り求道の生活を始められたのです。そして二十九歳の時、比叡山を下り横川の法然上人の門下に帰入されました。

親鸞聖人がこの世にお誕生されなければ、私達が阿弥陀様のすばらしい願いに出合うことも

出来なかつたでしょう。浄土真宗のみ教えに出合ったことを喜び、心より親鸞聖人のお誕生をお祝いさせていただく法要、それが親鸞聖人降誕会法要です。

1998年（平成10年）年回表

- 1 周忌 — 平成9年
- 3 回忌 — 平成8年
- 7 回忌 — 平成4年
- 13 回忌 — 昭和61年
- 17 回忌 — 昭和57年
- 23 回忌 — 昭和51年
- 25 回忌 — 昭和49年
- 27 回忌 — 昭和47年
- 33 回忌 — 昭和41年
- 50 回忌 — 昭和24年

「双葉高等学校」へ校名変更

明治四十年九月八日小樽別院
境内から出発して以来九十年間
女子教育を続けてきた本校が、
平成十年四月より「双葉高等学
校」と校名を変更し共学へと新
たな道を歩み始めました。共学
第一期生は新入生三百二十八名
中男子九十二名、女子二百三十
六名の新たな出発となりました。
「諸行無常」全てのものは移り変
りますが、時代が変わっても本
校の建学の精神は変わりません。
変わらないものを建学の精神の
礎にしているからです。
変わらないもの、それは正し
く「仏教精神」積尊により開顕
され、親鸞聖人により顕示され
た「本願を信じ念仏を申す」中
に歩む人生でありました。

これからも本校の生徒に、学
校生活を通して人間としての心



合掌

お知らせ

この度平成10年4月1日より、会館の使用冥加金が変更になりましたのでご案内いたします。

1. 葬儀の場合

使用場所	門 徒	他 門 徒
会館ホール並和室	200,000円	250,000円

※(イ)ストーブ使用の場合暖房費として

本 堂 30,000円
ホ ール 25,000円

(ロ)椅子を使用の場合 30,000円

2. 年回法要の場合

(イ)お斎をしない場合 10,000円
(ロ)お斎がある場合 20,000円

※ストーブ使用の場合(暖房費)

ホール	} 各10,000円
広間	
浄縁塔仏間	
会議室	5,000円

(ハ)迎仏冥加(別院・自宅以外の会場で仏具を貸す場合)
20,000円



小樽別院に伝道掲示板

昨年、平成9年11月に小樽別院に伝道掲示板が設置されました。（写真右側）

寄贈して下さったのは、小樽別院参与の田中修次さん（70才）です。（写真左側）

この伝道掲示板を使い、ますます布教・伝道に努めていきたいと思えます。

お参りにこられた際にはぜひごらん下さい。

また寄贈していただいた田中修次さんに紙面をかりて厚く御礼を申し上げます。

新納骨堂申込状況

（平成10年3月31日現在）

みなさまの尊いご協力を賜わり浄縁塔（新納骨堂）も無事完成し1年が過ぎました。おかげさまで大変好評を得て順調に使用いただいております。

しかし場所によってはすでに空きが少なくなつてまいりました。つきましてはなるべく早期にお申し込みをいただきますよう改めてご案内申し上げます。なお、詳しくは別院までお問い合わせ下さい。



小樽別院新納骨壇（浄縁塔）申込状況

申込総基数 235基

内 訳

階	所	基盤	計	階	所	基盤	計
1階	A	54	52	2階	A	58	10
〃	B	78	35	〃	B	78	9
〃	C	78	15	〃	C	78	16
〃	D	56	13	〃	D	96	85
合 計		266	115	合 計		310	120

初参式

「初参式」とは、新しく誕生されたお子さんが、初めて阿弥陀如来様にお参りする式であると共に、御家族一同が、新しい「生命」の誕生を心から喜び、人間に生まれた尊さを知る「仏の子」として、大切に育てさせていただきますと、阿弥陀如来様にお誓いする式でもあります。

当別院では、今年も親鸞聖人の降誕会法要にひきつづき初参式をとりおこないます。

対象は、生後百日ぐらいから三歳までの幼児です。式は短時間で終わります。記念品等も用意させて頂いておきますので、お気軽にお申し込み下さい。
お申し込みは、別院寺務所(☎二二一〇七四四)または別院職員まで。



初参式

お稚児さん募集

小樽別院では、宗祖降誕会に伴い、稚児行列を行います。

対象は三歳以上の幼児で、参加費用三千五百円が必要です。

この機会に、ご門徒の皆さんも、お子さんとご一緒に別院にお参りして、ご家族と一緒に、降誕会をお祝いしましょう。

申込み等詳しいことは、別院までお問い合わせ下さい。



稚児行列

位牌を用いない

わけは？

故人の法名を刻んだ位牌^{いはい}をお仏壇の中に入れておいてお宅がけっこうあります。その位牌の前にはお水が供えられていたり、ご本尊が隠れてしまう位置に位牌が置かれていたりします。

これでは何のためにお仏壇を求め、ご本尊をお迎えしたのかかわかりません。どうもこの位牌が「お

仏壇は死者をまつる所」という誤解を助長しているように思われます。この際、浄土真宗では「位牌を用いない」ということをしっかりと覚えておいて下さい。

それでは、故人を偲ぶ^{しの}ぶすがは何もないのかと言うと、そうではありません。過去帳か法名軸をお使い下さい。過去帳は、先祖の記録帳のようなもので、故人の法名、俗名、死亡年月日などを記しておきます。命日や法事の時に過去帳を置く場合は台に載せて開け、ご本尊の妨げとならないようにお仏壇の中段脇か、下段に置きます。もちろん、過去帳の前にはお水や食物などは供えません。また、法名軸はお仏壇の側板にかけるようになります。



カブスカウト募集!

何でも話しあえる友達をつくろう。

活動/毎月1、2回 土曜日 午後2時～4時
内容/文化しせつの見学、お泊り会、運動会。
小学校2年生から5年生の男子、女子を大募集!

ぜひ連絡下さい。TEL 22-0744
担当 鬼頭、温井

仏教青年会 会員大募集!

活動内容、文化活動(フラワーアレンジメント等) ボランティア
月1回例会(第三木曜日) 各種リクリエーション(ボーリング、カラオケ、スキー等)
10代、20代の男女を待っています。ぜひ気軽によってください。

連絡 TEL22-0744 担当 鬼頭、温井

おつとめ教室 生徒さん大募集!

●おつとめを練習します

●Q「おつとめ」って何? Qお仏壇のおかざりの方法は?
……こういった素朴な質問にもわかりやすくお答えします。

対象/どなたでもどうぞ。

日時/月2回の火曜日午後2時

お問い合わせ/今すぐ西別院の磯村まで……



12月のリース作り

アレンジメント教室

昨年11月から始まったこの教室も
おかげ様で40名を超え、ますます
活発に活動しています。時間も、
3時からと6時からの2回に増え
ました。どなたでも気軽に申し込
み下さい。

製造直売の店

仏壇・仏具・お宮・神具

片桐仏壇店

小樽市入舟4丁目5番入舟大通り
TEL (0134) 23-1309 (代)

花嫁衣装一式・貸衣装・高級祭壇葬儀一式
通商産業大臣許可 互 第1010号
全日本冠婚葬祭互助協会会員

株式会社 小樽新生活互助会

小樽市花園4丁目8番1号
国道5号線・山側

TEL 25-8743
FAX 25-8745

総合割烹・総合結婚式場
小樽の味・割烹の味



小樽市花園2丁目(公園通り)
☎(0134) 23-6171

支店 和洋レストラン ニュー豊楽
南樽駅下 ☎(0134) 23-7561

外商部 各種後会合に割烹の味をお届け致します。
☎(0134) 32-8757

御同朋の声

百日詣に思う



安田 芳枝 (77)

別院だよりを見させていたゞきま
すと、百日参拝を始めたのが、昭和
五十六年七月一日よりで、聖人のこ
在世時代六角堂へ、百日参籠吉永の
法然上人をお尋ねになつて、百日い
かなる大事があつても、「生死いずべ
き道」を求めて通われた事實にちな
んで、実施するものと書かれてあり
ました。私も丁度五十四年に主人
(弘誓院釋為徳)を亡くして、息子達
夫婦と暮らせていたゞく様になり、
色々忙しい事が重なり、其の折元副
輪番高柳様よりお寺にいらつしやい
との事にて、五十五年より別院にお
参りさせていたゞきました。

私も参加させていたゞき雨の日も、
風の日も、吹雪の日でも、往復歩か
せていたゞき、大きな声でお経を上
げさせていたゞき有難たいお話も聞
かせていたゞき、大勢の信仰を共に
する方々にも恵まれました。

平成四年、五年と、一寸体調をく
ずして入院等致しましたが、以来續
けさせていたゞき今では何處に行く
よりも、お寺にお詣りさせていたゞ
くのが何よりも楽しく、心身共にす
がぐしく、ならさせていたゞいて
居ります。でも煩惱ばかりの私です
がこれからも体のつゞく限り、お詣
りさせていたゞこうと思つて居りま
す。

合掌



生花を使って花祭壇

札樽葬祭(株)

TEL 34-0444
ワカマツ1-9-10

花の店 カトリア(有)

TEL 23-6487
奥沢 1-17-3

晨朝百日参拝開始

今年も百日参拝を5月1日より開始致します。
早朝の澄んだ空気を、胸いっぱい吸い込み、命
の尊さを知らさせて頂きましょう。

期 間/5月1日~8月8日

時 間/午前6時30分より

場 所/別院本堂

3分間の心のともしび

TEL 27-1616

小樽別院テレホン法話

24時間いつでもどうぞ

毎月1日、16日に
内容が変わります



ご 案 内

小樽別院

☎0134-22-0744
お晨朝 毎朝6時30分

常例布教

毎月7日～11日巡回布教使
13日～16日巡回布教使

同 事 食

毎月8日 正午より

仏教青年会

毎月1回開催 午後7時より

仏教婦人会

毎月27日 正午(おときあり)

仏教壮年会

毎月6日 午後7時

おつとめ教室

毎月2回 火曜日 午後1時30分

ボーイカブ・スカウト

毎月3回 土曜日 午後2時より

日曜仏教講座

毎月第1・3日曜 9時より

19 日 講

毎月19日 正午より

各説教所の案内

- 奥沢説教所 樹心会 5日午後7時より
唯信講 10日正午より
- 若竹説教所 彰心会 7日午後7時より
- 緑説教所 無量講 9日午後6時より
- 新光説教所 法友会 13日午後6時より

別院人事

退職

森山尚志 副輪番

(平成9年5月23日～平成10年1月24日)

今年1月に宮崎別院に移動されました。
長い間、御苦勞様でした。

新職員紹介



西川達恵 副輪番

(平成10年3月12日付)
年令40才 出身佐賀県

尊いご縁をいただき、三月十二日付で本願寺小樽別院に勤務させていただくこととなりました。
ご門徒の皆さまのご指導ご協力をいただきながら、ご法義繁昌のため一生懸命、勤めてまいりたいと存じますので宜しくお願いいたします。